

たのではないか、どうしたらよいか。シニアアクティブのメンバーが自分の分類をうめる努力が必要である。新人会員にも知己が多いのではないか。飯田会員より例会の楽しいムード造りを心掛けようとの発言がありました。

◎ 出席報告

会 員 数	69 名	出 席 率	函 館 北 1 月 16 日	9 1.18 %
出 席	37 名		函 館 東 1 月 15 日	祝日休会
欠 席	32 名		函 館 1 月 10 日	9 6.66 %
他 クラ ブ 出 席	25 名		函 館 五 稜 郭 1 月 11 日	1 0 0.00 %
出 席 合 計	62 名		函 館 亀 田 1 月 14 日	8 5.71 %
除 外 者	1 名			

次回・2月6日
プログラム

映 画
「 津軽海峡の海底下を掘る 」
阿 部 修 会 員

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函館国際ホテル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

第251地区 第11分区



1984~1985

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

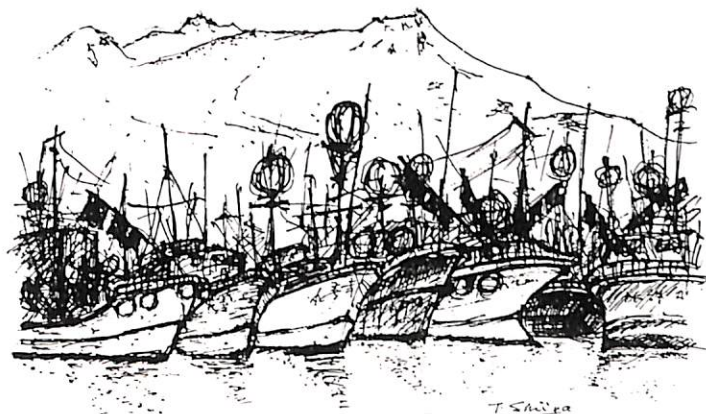
函館北ロータリークラブ会報

カルロス・カンセコ 国際ロータリー会長テーマ

Discover a New World of Service

見つけよう奉仕の新生面

椎谷
龍彦
会 員



《第1036回例会》 第30号 2月6日(水)

本日のプログラム

映 画
「 津軽海峡の海底下を掘る 」
阿 部 修 会 員

★会 長 宮崎 英一 ★幹 事 中川 洲平

1984~1985 <第 1035 回例会> 第 29 号

1月30日の記録

- ◎司 会 宮崎 英一 会長 ◎斉 唱 我等の生業
- ◎ピジター 函館R.C. 若山徳次郎君他1名 函館東R.C. 大久保利光君
函館五稜郭R.C. 青田秋彦君他1名
- ◎ゲ ス ト 函館市民オーケストラ団長 中 島 真 之 氏
函館地区吹奏楽連盟副理事長
- ◎会長報告 宮崎 英一 会長
○1月26日、会長・幹事会があり光銭分区代理より次の様なお話がありました。
- ①フィリピン大学にロータリーハウスを作った。1,000ドル寄付すると北ロータリーのプレートが張られるので是非協力願いたい。
- ②ローターアクトは1月9日出発し無事帰って来た。
- ③世界奉仕関係ではフィリピンに消防車を5~6台贈る予定で現在整備中。
- ④交換留学生用手引書が出来た。
- ⑤ライラ(青少年指導者の育成団体)は、5月6、7日に神宮閣で研修する。
- ⑥次期分区代理が内定した。
第10分区、七飯元会長遠藤会員 第11区分、五稜郭元会長滝野会員
- ⑦IGF、4月21日ロイヤルホテル 12時受付、本会議は13~16時20分迄
会費5,000円、各クラブ共80%出席のこと。4大奉仕部門は議題を考えて幹事
まで提出のこと。
- ⑧新交換留学生マッキントッシュ(女子)が来た。
○伊藤美穂さんはあと2ヶ月で帰る予定です。充実した勉強を続けておられます。
○市民体育館10周年記念行事について、函館R.C.の若山会長よりお願いがあります。
- ◎函館R.C. 若山徳次郎会長
市民体育会館が10周年の記念行事を行うことになりました。実行委員長は函館R.C.の庄子正治会員ですが海外出張中のため代理でまいりました。どうぞ理事
会におかけの上で何分の賛助をお願いします。
- ◎国際奉仕委員会 松本 修 会員
交換学生ガイール・ウィルチさんは1月11日に帰国しました。礼状が来ております。元気でオーストラリアに着きました。函館の一年間は楽しくよい思い出となりました。今後は日本語を使う仕事につきたいと思えます。日本語を忘れないためオーストラリア日本クラブに入ります。とのことです。
伊藤美穂さんは3月21日帰国予定です。これを以って当クラブ20周年の特別

事業が完了します。

- ◎幹事報告 中川 洲平 幹事
ロータリーの友の一年分のブックファイルが700円です。希望者はどうぞ。
- ◎親睦委員会 三沢 洋大 会員
ニコニコBOX投入報告
○協力します。……………川村朝会員・伊藤(剛)会員・三本木会員・安藤会員
○結婚・誕生祝ありがとう。……………加藤勝会員
○しばらくハワイで過したので欠席がち。……………佐々木会員
- ◎ゲスト紹介 石橋 輝夫 会員
中島君とは中学・高校の同級生です。現在五稜中学の先生ですが、以前に中央・桐花中学を歴任しておいでです。その間、60人の吹奏楽団を編成し、昨年の全道大会で金賞をとりました。又市民オーケストラの団長もしており、函館の音楽水準を高めている方です。
- ◎卓 話 “音楽を人生の友として、

中 島 真 之 氏

私は高校時代、大学で建築を勉強したいと考えており、音楽は念頭になかった。しかし、家庭の事情から函館を離れられず、やむなく学芸大学(小学校過程)に入ることになった。こゝで第2専攻が必要となり、第5志望に何となく音楽と書いたところ、本当に音楽に決められてしまった。音楽研究室に入ると他の人達は神経質そうで、又裕福そうであり、まだ坊主頭の私は全くの異端児であった。ピアノのレッスンで始めてピアノを弾かされた。音符も読めなかった。音楽は音を楽しむと書くが、私にとっては音我苦という感じであった。音楽に対して自分は何も出来ない、何をしてもおこなれている、ということから、或る先生と相談して他人がやっていない管楽器をやることにした。そして吹奏楽は中央中学校へ行って生徒と一緒に練習した。卒論は「吹奏楽の指導法と運営」である。その頃やっとオーケストラを作ろうという夢を持つようになった。

大学4年間で全く次元の違う世界の人、音楽仲間を知った。自分が音楽を学び乍ら第三者の眼でこの人達を見て来たと思う。音楽をやる事によって人格形成がなされるように思う。例えば小さい時から音楽を習えるというのは家庭が豊かであれば出来ないことで、豊かならわがまにもなる。又音楽は一方通行の技術指導で、意見は云わせない。又一対一で楽器とつき合うので人の気持を汲むことがない。又音符は長さ、高さが決まっており、違うものは違う、駄目なものは駄目というようにははっきりしてしまう。

大学4年間、音楽に対する劣等感はずけなかったが、その後も劣等意識に負けないように克服することを覚えた。音楽との出会いが自分を新しい方向に持って

行ってくれたと、今では感謝している。

音楽は1つには、何となく楽しむ、心が安まるという種類ともう1つは、心が高まる芸術的なものである。後者がクラシックであるが、個人差、場所、気分、時などによって感じ方も違うから何とも云えない。ポピュラーは短く単純明快で聞き易いが、クラシックは長いし身構えて聞くことになる。レコードではなかなか感動出来ないが、実演奏では奏者と聴衆の間に心の繋がりが出来て感動するものである。昨年市民オーケストラの演奏では、第一楽章が終わったところで異例の拍手が起り、演奏者も大変勇気づけられた。

知らないクラシックを飽きずに聞くには、前以ってレコードで予習するとよい。とにかく興味を持って聞くこと。スポーツでルールを知らないと解らないように音楽も内容を知らないとな面白くない。普段から少しでも聞きかじる習慣をつけておくと知らず知らずのうちに興味も湧いて来る。

昨年3日程、発熱で寝込んだ時、眼が痛くて本も読めず、結局私を慰めてくれたのは音楽であった。人間年をとると視力も弱まり、テレビや本に頼れなくなるから、その時音楽を楽しめるようにしておくとういと思う。そのため今から音楽を生活の中にとり入れることをおすすめする。

◎ 出席報告

会 員 数	69名	出 席 率	函 館 北 1月23日	94.12%
出 席	41名		函 館 東 1月22日	92.77%
欠 席	38名		函 館 1月17日	96.56%
他クラブ出席	23名		函館五稜郭 1月18日	100.00%
出席合計	64名		函館亀田 1月2日	88.09%
除 外 者	1名			

次回・2月13日
プログラム

会員卓話

「私の.....」

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函館国際ホテル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

第251地区 第11分区



1984~1985

The Weekly Report of

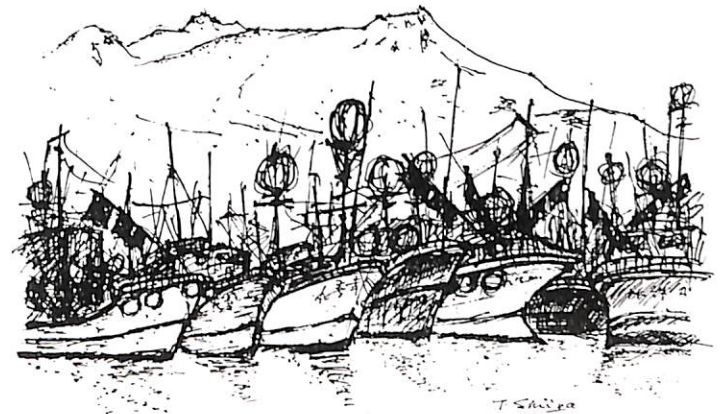
Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

カルロス・カンセコ 国際ロータリー会長テーマ

Discover a New World of Service

見つけよう奉仕の新生面



椎谷
龍彦
会員

《第1037回例会》 第31号 2月13日(水)

本日のプログラム

会員卓話

「私の.....」

★会長 宮崎 英一 ★幹事 中川 洲平